

論説

政治というドラマは、時に急展開する。菅義偉政権から岸田文雄政権へ、一気に政局は動いた。衆議院選挙は19日公示され、31日には早くも投票を迎える。

総選挙の最大の焦点は何か。やはり新型コロナウイルス対策の是非と今後のかじ取りが初の審判を受けることだ。

感染者は170万人超、



宮武 剛

新型コロナと政治

死者は1万8000人超には政党の得票にどうつながる。高熱や呼吸困難に耐えた人々とその家族、面会もかなわないまま見送った遺族・友人らは、どんな投票行動をとるのか。

医療・介護・保育・障害者福祉等のスタッフは、2年近い苦闘をいかに振り返るか。ヒト・モノ・カネ・ノウハ

大災害を超える被害だが、人口当たりの感染者数・死者数は、なぜか欧米主

になった。科学的な分析・評価に基づいて政治が方針と対策を打ち出す象徴的な光景である。だが、「Go To」キャンペーンや東京オリンピック開催では「政

治」が「科学」を軽視したのではないか。この是非も争点になる。

当然ながら歳出は膨らんだ。国と地方は1212兆円もの大借金を抱える（今年度末）。財政健全化への道ははるかに遠のいた。

一票の重さはどう応える

要国と比べ各段に少ないのも事実だ。

ワクチン接種は出遅れたものの、急ピッチで進み11月には2回完了者が国民の70%台に乗る。その評価

飲食・観光・運輸・興行等の事業者や従事者は崖っぷちに追い込まれた。ひとり

親世帯、非正規労働者、フリーランスらの多くも奈落の底へ突き落とされた。どんな思いを一票に託すのか。

みやたけ・ごろう NPO法人福祉フォーラム・ジャパン副会長、学校法人・社会医学技術学院理事長

尾身茂・新型コロナウイルス感染症対策分科会長が首相と並び会見に臨む姿が当たり前額給付金が配られた。困窮

（本紙論説委員）